

第3回

親子写真まつり

親子の数だけ親子の物語



開催宣言

「親子」という関係が社会問題を導く引き金になったり悲しい出来事につながる事も多く耳にする昨今ではあります。が、「親子」というテーマは、現代社会が抱える諸問題（少子化、高齢化、貧困、環境破壊、戦争など）を解決する糸口となりうる可能性も秘めています。親から子へと引き継がれていく命。その重さを真摯に受け止めることこそ、私たちが向き合う諸問題を解決するための大きな鍵となるはず。

「親子」は、国境も文化も宗教もこえられる世界の共通語。「世界中の命が、生まれたことに感謝できる日」を目標に、世界各国の写真家が捉えたさまざまな親子の風景を一堂に集めて、「写真展「第3回親子写真まつり」」の開催を宣言いたします。

企画にご賛同いただいた写真家の皆様から届けられた親子写真の一枚一枚から「親子の数だけある親子の物語」を感じとってください。

FCCJ
ギャラリーツアーのご案内

7/9 ± 11:00~14:00~

7/16 ± 11:00~14:00~

※各回約1時間の予定/参加費無料

お申し込みはこちら→



2022 7/2 ± → 8/5 金

日本外国特派員協会 (FCCJ)

東京都千代田区丸の内 3-2-3 丸の内二重橋ビル 5階

03-3211-3161 <https://www.fccj.or.jp/>

※開館時間 10:00~18:00/日祝は休館

※コロナ禍のために変更の可能性もありますのでご注意ください

※展覧会場には会員でない方も入館できます、来館の際には受付に声をかけてください

★本イベントは千代田区文化事業の助成を受けて実施しています★

FCCJに展示した写真作品は、こちらからオンラインでも見ていただくことができます→



↑アクセス



◆展覧会参加者

Farhana Akther (Bangladesh)
Daniela Rivera Antara (Peru)
Jamie Brisick (USA)
福田秀世 (Japan)
Robert Gerhardt (USA)
Arshad Ghori (Pakistan)
Mark Edward Harris (USA)
細江英公 (Japan)
Asmara Hussain (Pakistan)
Iqbal Khatri (Pakistan)
葛谷舞子 (Japan)

小松健一 (Japan)
Yulia Nevskaya (Russia)
中条望 (Japan)
Bruce Osborn (USA)
清水亮 (Japan)
Ann Summa (USA)
鈴木香織 (Japan)
Anne-Francoise Tasnier (Belgium)
Krutik Thakur (India)
Lisa Vogt (Japan)

順不同

★「親子の日2022」は、以下の企業・団体と共に実施いたします (2022年6月現在)

◆主催: 親子の日普及推進委員会 ◆特別協賛: オートコン補聴器/DACグループ ◆特別協力: 株式会社毎日新聞社/カルチュア・コンビニエンス・クラブ 株式会社萬屋書店カンパニー

◆協力: 株式会社円谷プロダクション/チョーヤ梅酒株式会社/日本外国特派員協会/公益社団法人日本写真協会「東京写真月間2022」実行委員会/株式会社琉球補聴器/お母さん業界新聞/株式会社浪漫堂/INTERNATIONAL WOMEN IN PHOTO ASSOCIATION/祭エンジン(OYAKO祭半纏プロジェクト)/株式会社スタジオアリス/Photographic Society of Pakistan/株式会社オゾン ◆助成: 千代田区文化事業(第3回親子写真まつり2022) ◆後援: 文部科学省